

平成13年

2

486

もじ

Contents

ねえねえこの本読んで～絵本の紹介～
丸子町行政改革大綱全面改正
資源物を出す祭のルール
町の話
消防団出初式（消防功労者掲載）
所得の申告

町民
憲章

The Citizen Charter

- ▶ 緑あふれる郷土を愛し、豊かな町をつくりましょう。
- ▶ 仕事に励み、伸びゆく産業の町をつくりましょう。
- ▶ 平和を愛し、心のふれあう楽しい町をつくりましょう。
- ▶ 教養を深め、香り高い文化の町をつくりましょう。
- ▶ 健康で幸せを願い、希望に満ちた町をつくりましょう。

データ

1月1日現在

Data

人口 男 12,432人（-24）
女 13,107人（-18）
総数 25,539人（-42）
世帯数 8,866（-29）

提
案
見

Opinion

Eメール: office@town.maruko.nagano.jp
ホームページ
http://www.town.maruko.nagano.jp
町長室専用ファックス(町づくりアクティブライン)
Fax 0268-42-3388
毎月15日は町長との対話サロン
【問】☎0268-42-1011
企画課情報係

編集・発行

丸子町役場企画課情報係
〒386-0492
長野県小県郡丸子町大字上丸子1612
☎0268-42-1011
Fax 0268-43-3666
印刷 さいとう印刷

広報に掲載した写真差し上げます。
丸子町役場企画課情報係まで

花ごよみ

ジャノヒゲ

- ・ 蛇のひげ
- ・ 龍のひげ
- ・ 龍の玉(実)



山林や樹下に自生するユリ科の多年生常緑草本ですが、庭草として庭石や庭園のふちどりとして栽培されます。初夏のころ、細長い葉の間から花茎を出して淡紫色や時には白い小花をつけ花後、球状の実をつけます。冬になると熟して青紫になり龍の玉と呼ばれます。この実はよく弾むの

ではずみ玉として子どもの遊びにも使われました。この実は果実ではなく、果皮の発達しない種子であり乾燥した根は麦門冬(ばくもんとう)として滋養強壯の薬草です。和名は葉の形からきています。

『蛇のひげの 玉や摘まれて逸散す』 風生

今月の表紙

21世紀に羽ばたけ
丸子町成人式

1月8日、丸子町文化会館で成人式が開かれました。

町内の対象者は298人。前日から降り積もった雪にもかかわらず、213人が新春にふさわしい振袖やスーツ姿で式典に参加しました。

式典では、町長をはじめ多くの来賓から激励の言葉をいただきました。成人者を代表して坂井絵美さんと渡邊信也さんが成人を迎えての豊富や目標を発表しました。

式典終了後は、地区ごとに分かれ記念撮影も行われました。

記念冊子「二十歳」は3月中旬にできあがります。



図書館の利用案内

町立金子図書館 ☎42-2414 有線2-4602
開館時間 9:30~18:00 (土、日曜日は17:00)
休館日 月曜日、祝日、月末日、年末年始、
特別整理月間

本を借りるのは無料です。

【本を借りるとき】

1人10冊(丸子、東部、上田、坂城、青木、真田、
移動図書館の6館あわせて)3週間借りられます。
借り方は簡単、初めて借りるときに申込書に書け
ば、その場で利用者カードが作られます。(住所の
確認のできるものをお持ちください。)

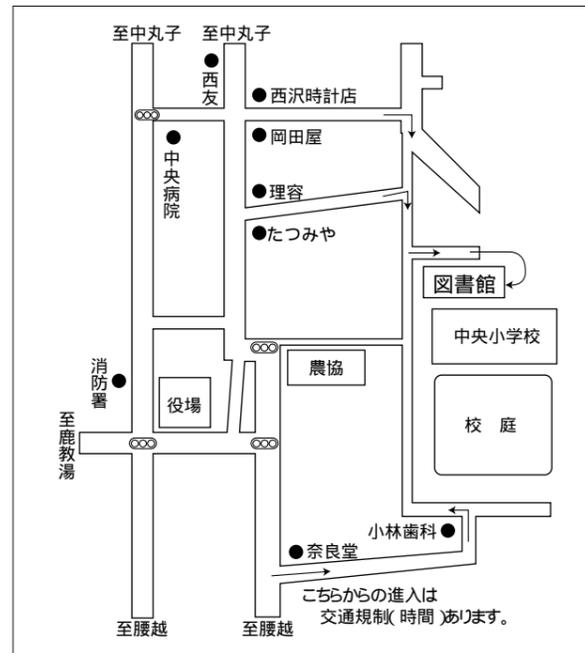
利用者カードでは6館どこからでも借りられます。

【本を返すとき】

6館どこへでも返本できます。図書館が閉まって
いるときは、返本ポストへお返しください。



図書館はここですよ



「絵本に学ぶ」

塩川小学校PTA母親文庫 横山佳栄さん

私たちが選んだ『まゆとおに』はとても絵がきれいがかわい
しく、言葉のやり取りもとてもテンポがよく引き込まれます。

やまんばの娘のまゆは小さいかわいい女の子です。ある日ま
ゆは鬼と出会いますが、まゆは鬼というものを知りません。まゆ
は、鬼が自分を大鍋で煮て食べてやろうと考えているとは知ら
ずにかまどを作る鬼の手伝いをします。そのあと、お湯が沸い
て、ニヤニヤしている鬼を見てまゆがたずねます。「どうして笑
っているの?」鬼が答えます。「いや、なに。もうき熱い風呂に
入れると思うとうれしくてな」。それを聞いてまゆは親切心から
「お先にどうぞ」と鬼を大鍋に投げ入れてしまいます。このあとま
ゆと鬼はどうなったでしょうか...

子育てや子どもたちの成長過程でますます人間関係が希
薄になる社会の中で、こうした絵本を通して、心の交流ややさ
しさ、親のしつけやあり方までも考えることができました。



お母さん、こんなところに気
をつけて読んであげてください
選んだ絵本はいきなり読まずに必
ず自分でも目を通し、声に出して読
んでください。余裕を持って読んで
あげられると思います。
絵本を読むときは、速く読まずに
じっくりとしたペースで読んで
みてください。



金子図書館司書
永井千恵さん

一冊の本を何度も読んで、と言わ
れたら、読んであげてください。子
どもが自然に本に親しむきっかけ
の一つになるかもしれません。
子どもに読んであげながら大人の
心も知らないうちに癒されていると
いうことも...。絵本に年齢はないと
も言われています。
子どものころに読んでもらった
自分で読んだ絵本の中で、何か一つ
でも心に感じたことのあるものは、
大きくなっても覚えていて、懐かし
く思い出されたりします。そういう
本を子どもたちに受け継いでいくの
もいいかもしれません。子どもたち
を素晴らしい絵本の世界へ導いてあ
げたいものです。

ねえ、ねえ、この本よんで!

~子どもにおすすめの絵本を紹介~



子どもから、こんな言葉でせがま
れた覚えのある人は、たくさんいる
と思います。最近、小さいころから
の読書の大切さをあらためて見直そ
うという動きが広がっています。言
葉をまだ知らない赤ちゃんの時から
本に親しむには周りにいる大人たち
が絵本を読んであげるのが一番では
ないでしょうか。

そこで、今回おすすめの絵本を何
冊かご紹介したいと思います。

旅行する人はち植えを預けて世話
をすることにしたトミー。家の中は、
植木ばかりでいっぱい。植物は、どん
どん伸びてジャングルみたいになりま
した。
ある晩、植物が大きくなりすぎて家
が壊れてしまう夢を見たトミーは...?
はち植えの世話を自分で勉強しながら
やりとげていく男の子の姿を描いた絵
本。



「はちうえは
ぼくにまかせて」
さく: ジーン・ジオン
え: マーガレット・
ブレイ・グレアム
やく: もりひさし
ペンギン社

ゆうちゃんが食べ終わったお菓子の
缶にコップをのせたら、「わーい、みき
さーしゃだ」。ゆうちゃんはみきさーし
やにのって、森をぬけ、はちにはちみ
つを入れてもらい、牛やにわとりは牛
乳や卵をわけてもらって...。
最後にみきさーしゃからでてきた甘
いものが忘れられない思い出になる
かも。



「ゆうちゃんの
みきさーしゃ」
さく: 村上祐子
え: 片上健
福音館書店



「とりかえっこ」
さく: さとうわきこ
え: 二俣英五郎
ポプラ社

遊びに出かけたひよこは、出会う動
物たちの鳴き声と次々にとりかえっ
こをします。お家に帰ったひよこの声は
どうなっていたでしょう。



「いないいないばあ」
さく: 松谷みよ子
え: 瀬川康男
童心社

にやあにやがほらほら、いないいな
い...ばあ!
くまちゃんがほらね、いないいな
...ばあ!
赤ちゃんが大人と一緒に遊びながら
楽しめる定番の絵本。
(松谷みよ子 あかちゃんの本)と
してシリーズがあります。)

行政改革大綱の全部を改正

現行の丸子町行政改革大綱は平成八年に制定され、その後平成十年に大綱の一部改正をし現在に至っていますが、現在の大綱は、平成十三年三月をもって改革目標の設定期間が終了します。そこで町では、平成十三年一月十日に丸子町行政改革推進委員会の意見を聴き国の情報化施策等への対応、環境保全や少子・長寿社会への対応、住民サービスの向上など行政への多様な要請に応えられるよう、新たに行政改革大綱を策定しました。

時代の变化への対応や、行政の守備範囲を明確にした取り組みを推進していく必要がありま

事務事業の企画・立案には、費用対効果の視点を今まで以上に加えて推進していく必要があり

改革への五つの視点を基本方針に据えて行政改革の推進を図ります。

資源循環型社会に向けたエコロジの推進

地方分権の推進やIT（情報通信技術）革命への対応など新時代にふさわしい行政の実現

厳しい財政環境における弾力的財政運営

町民に開かれた行政の実現

行政の情報化施策の推進

行政改革の六つの柱を定め、

《改革の視点》

《新たな改革の必要性》

- (1) 環境問題や少子・長寿社会への突入、国際化、情報化の進展、町民の価値観の多様化など、社会・経済環境そのものが大きく姿を変えつつあります。
- (2) 平成十二年四月には、地方分権一括法が施行され、地方自治体の役割がこれまでと大きく変わり、地方分権の推進やIT革命への対応など、いろいろな知恵を出し合って行政を進めていかなければなりません。
- (3) 町民へのサービスの向上を図り、簡素で効率的な行政体制の確立が重要な課題となっています。
- (4) 生活関連施策の整備や教育、福祉施策の充実など、町民生活の安定と向上に欠かせない事業は、着実に推進する必要があります。
- (5) 職員数の適正な管理や配置、給与の適正化が求められています。
- (6) 限られた財源の中で計画的な財政運営が求められています。



行政の情報化施策の推進

《目標期間》

平成十三年度から平成十五年度を目標期間とします。

《数値目標の設定》

可能な限り具体的な数値目標を設定し、町民にわかりやすい取り組みを推進します。

《行政改革の推進策》

《改革の推進》

広域利用システムの検討をします。

- (1) 改革の推進体制
 - 町民の理解と協力の下に、計画的な推進を図ります。
 - 町は、行政改革推進委員会の意見を聞き、行政改革推進本部・各部会・各課・職員と連携を取り、行政改革を推進します。
- (2) 改革の実施、公表、評価等
 - 改革の実施
 - 実施計画の策定
 - ・ 目標年度、担当課等具体的な実施事項を定めた行政改革実施計画を策定します。
 - ・ 行政改革実施計画は、ローリング方式による毎年度見直しを行います。
 - 個別計画の策定
 - ・ 個別計画の策定に努めます。
 - 行政改革の公表、評価
 - ・ 毎年度、行政改革の実施状況をわかりやすく公表し、町民の皆さんの意見等を取り入れ、評価し、行政改革の推進を図ります。

市町村合併についてのメリット・デメリットの調査研究
日常生活圏はますます拡大し、町民が必要とするサービスも多様化・高度化しています。
このような時代の要請に適切に対応できるよう、市町村の連携による広域行政の展開と並んで、市町村の自主的な合併について、メリットやデメリットを調査・研究していきます。

利用者本位の公共施設の管理運営
施設の適正な管理運営の推進
・ 利用者本位の施設利用ができるよう管理委託等の推進を図ります。

施設の有効利用と利用料金の適正化
・ 施設の有効利用を図りながら、利用者の視点に立ち、機能・運営方法、経費面などさまざまな方向から検討します。

行政の情報化など町民サービスの向上
公平性の確保と透明性の向上
組織・機構の簡素合理化
定員および給与の適正化と人材育成
利用者本位の公共施設の管理運営
施設の適正な管理運営の推進
・ 利用者本位の施設利用ができるよう管理委託等の推進を図ります。

行革

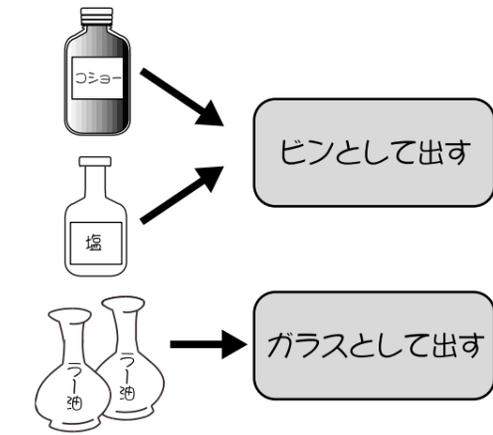
- (2) 公平性の確保と透明性の向上
 - 情報公開の推進を図ります。
 - 個人情報保護制度の適正な運用に努めます。
 - 行政手続き等の適正化
 - ・ 行政手続き制度の適正な運用を図ります。
 - ・ 契約、入札制度の改善、検討を進めます。
 - 監査機能の強化
 - ・ 監査機能の強化に努め、外部監査制度の調査、研究を行います。
 - 広報広聴機能の充実を図ります。
- (3) 組織・機構の簡素合理化
 - 時代に即した組織・機構の見直し
 - ・ 柔軟かつ総合的な組織運営

- (4) 定員および給与の適正化と人材育成・確保
 - 定員管理および給与の適正化の推進
 - ・ 町民サービスの維持・向上に配慮し、事務事業のさらなる見直しを進め定員管理の適正化に努めます。
 - ・ 国や他の地方公共団体との均衡を考慮した給与の適正化に努めます。
 - 人材育成・人材確保
 - ・ 他団体との人事交流や職員研修を推進し、多様化、高度化する業務内容に適切に対応できる職員の育成を図ります。
 - ・ 時代の変化に対応できる適切な人事管理
 - ・ 社会経済環境等の変化に的確に対応するため、職員の持っている能力を最大限に発揮できるように人事評価システムに基づく人事異動要綱の研究など適切な人事管理に努めます。
- (5) 行政の情報化など町民サービスの向上
 - 窓口サービスの向上
 - ・ 窓口の総合化、事務処理の電算化や申請手続きの簡素化を進めます。
 - ・ 休日等の窓口の事務の対応などの検討を行います。
 - 行政情報化の推進
 - ・ IT革命に的確に対応する電子自治体の実現に向けて、効率的・計画的な情報化の推進に努めます。
 - 規制緩和の推進
 - ・ 行政手続きの簡素化により町民の申請等に係る負担の軽減に努めます。
 - 多様な行政への取組み
 - ・ 環境の保全や少子・長寿化社会への対応など行政への多様な要請に応えられるよう、サービスの提供に努めます。
 - 広域体制・連携の強化、広域行政の推進
 - ・ 広域的な課題に対応する共同処理化の検討、公共施設の

PFI：公共工事の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効果的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方です。
サンセット方式：一定の時点または定期的に対象事業の見直しを行い、継続の必要性が確認されない限り、その事業は自動的に廃止され、予算は付けられないというものです。



このピンはどこへ出すの?



割れたピンは……



守っていますか? 資源物を出すルール



昨年の10月より資源物の分別収集がスタートしましたが、みなさんは排出ルールをきちんと守っていますか? ここでもう一度確認してみましょう。

決められた日曜日に出してください。(紙類を出す日にペットボトルなどは出さないでください。) ペットボトルなどは必ず収納容器(網)に入れてください。(ポリ袋では出さないでください。) 回収所に入りきらない場合、ダンボールは外に出しておいてください。事業活動による資源物は回収所へは出さないでください。(回収業者に収集委託をしてください。) 資源物回収所はみなさんが使う施設です。お互いに整理・整頓を心がけましょう。

ダンボール

- 1) ひもで束ねて出してください。(ガムテープは使用しない。ひもはビニール製でも可。)
- 2) ダンボール以外のもの(ボール紙など)を中にはさまないでください。



新聞紙

- 1) チラシは除き新聞紙のみをひもで束ねて出してください。(チラシは「その他の紙類」へ)



ペットボトル

- 1) キャップを外してください。
- 2) 水で軽くすすいでください。
- 3) ラベルをはがしてください。
- 4) 必ずつぶしてから収納容器(網)に入れてください。



発泡スチロール

- 1) 汚れの染み込んだものはリサイクルできません。汚れのないものを出してください。(汚れたものは細かく割り『プラスチック・ゴム類』の袋へ入れて、ごみ集積所へ出してください。)



トレイ

- 1) 汚れたものは必ず洗って出してください。
- 2) 色付きトレイは『プラスチック・ゴム類』の袋へ入れてごみ集積所へ出してください。



毎月第三土曜日の午後一時から三時まで、ファーストビル一階のリサイクルプラザでは、消費者の会の皆さんによるアクリルたわしや買い物袋、牛乳パックで作った小物入れなどを作る講習会が開かれます。

「消費者大学で学習してきたことを皆さんに伝えられればいいですね」と消費者の会会長の山本美子さんは話します。また、リサイクルプラザができて、あまり利用されないのも実状で、こうした活動を通してリサイクルの意識の向上が図られ、リサイクルプラザも有効に活用できることが期待されます。

「お気軽にお立ち寄りください」と山本さんは話しています。

リサイクルプラザへ参加

第25回 現代女性教養大学 21世紀をどう生きるか

場所 丸子町文化会館 小ホール
 対象 女性だけでなくどなたでも参加できます。
 受講料 全行程400円(1講座200円)
 2/16(金)、3/4(日)は無料
 障害者の方、70歳以上の方は全行程無料
 託児 ご希望の方は事前にお申し込みください。

受講申込 2月7日(木)までに丸子町公民館までへお申し込みください。
 随時聴講できますのでご連絡ください。
 〒386-0404 上丸子1488 丸子町文化会館
 現代女性教養大学運営委員会事務局
 ☎42-3147 FAX42-3148 有線2-4722

1回目 2月7日(木) 13:30~15:00
 講師 塩田咲子
 (高崎経済大学教授)
 埼玉県男女共同参画社会審議会委員
 【男女共同参画社会】
 「ジェンダーと社会制度」
 ~新世紀日本の未来は~

3回目 2月21日(木) 13:30~15:00
 講師 川清輝基
 (NHK放送文化研究所)
 NPO子ども劇場全国センター代表
 【教育問題】
 「人間になれない子どもたち」
 ~現代文明と子どもの発達~

2回目 2月16日(木) 13:30~15:00
 講師 丸子町長 堀内 憲明
 「21世紀のまちづくりについて」
 ~町長と語る車座サロン~

4回目 3月4日(日) 14:20~15:50
 講師 星 旦二
 (東京都立大大学院教授)
 「健康日本21」計画策定委員
 【健康と福祉】
 「今日から始まる生き生き健康づくり」
 ~元気で年とる大作戦~
 健康と福祉のフェスティバルと同時開催

男と女がよりよく
 いっしょに生きるには...? ③②
 ~男女共生社会づくり~

このコーナーへのご意見ご感想をお待ちしています。
 【宛て先】
 〒386-0404
 丸子町上丸子1488
 丸子町教育委員会
 社会教育課
 TEL42-3147
 FAX42-3148



介護保険の在宅サービスの中にショートステイ(短期入所)というサービスがあります。

このサービスは6カ月間に使える日数が決められていますが、制度の改正により、訪問通所サービス(デイサービスやホームヘルパーなど)の使い残し分をショートステイ(短期入所)の使用日数に振替えることができます。これを振替特別措置といえます。

この制度が、さらに平成13年1月1日から連続30日を限度に拡大され、より使いやすくなりました。

例えば...
 丸子太郎さんは、要介護3で、1カ月にデイサービスを4回と電動ベッドを借りています。

要介護3の場合

・訪問通所サービスの限度額 (1カ月)	267,500円
・ショートステイ(短期入所)限度日数 (6カ月)	21日

左のように要介護3の場合介護保険からの支給限度が決まっています。ショートステイの限度日数は6カ月で21日ですが、丸子さんはひと月で21日利用してしまいました。丸子さんは、来月も引き続きサービスを利用したいと考えています。そこで、丸子さんは自分の担当であるケアマネージャーに相談しました。



ケアマネージャーは、1カ月の利用限度額から、デイサービスや福祉用具の貸与の分を計算し、余った限度額をショートステイの利用日数に振替えてくれました。すると、1カ月にショートステイが20日間振替利用できるようになりました。

現在も丸子さんはケアマネージャーと相談しながらさまざまなサービスを組み合わせ上手に利用しています。

丸子町の介護保険 (平成12年4月から10月までの利用状況)

丸子町在住で介護保険の要介護(要支援)認定を受けた方は、780人です。(平成12年12月1日現在)
 その中で在宅サービスを利用している方は434人、施設サービスを利用している方は136人います。
 平成12年4月から10月までの各サービスの利用状況は、右のとおりです。

	支給額 (千円)
施設介護サービス	388,766
訪問通所サービス (デイサービスや訪問入浴など)	231,664
短期入所サービス	12,494
福祉用具購入費	399
住宅改修費	1,094
合計	634,417

お問い合わせは ふれあいステーション内
 保健福祉課介護係 電話 42-0015 有線 2-7652

乳幼児健康診査

▶受付時間：午後1時~1時15分
 ▶ところ：保健センター
 ▶持ち物：母子健康手帳・赤ちゃん手帳の「あたずね」

健診	とき	対象者
4カ月児	2月2日(金)	平成12年9月5日~10月1日生
10カ月児	2月23日(金)	平成12年4月生
1才6カ月児	2月9日(金)	平成11年8月生
2才児歯科	2月13日(火)	平成11年1月生
3才児	3月16日(金)	平成10年1月生
4カ月児	3月1日(木)	平成12年10月2日~11月4日生

7カ月児健康相談

▶持ち物：母子健康手帳・アンケート用紙

実施日	時間	対象者
2月6日(火)	受付:午前10時~10時30分 実施:10時30分~12時	平成12年7月生 平成12年8月生

予 防 接 種

種類	対象者	実施時期
麻疹	平成11年7月~12月生	平成13年2月
日本脳炎	平成12年1月~2月に1期初回を終了した人	

▶対象：病気やけがにより、心身の機能が低下しているが、介護保険の認定で自立と認められ医師の許可のある方

集団訓練	とき	時間	ところ
	2月14日(水)	10時~15時	ふれあいステーション3階
	2月28日(水)	10時~15時	

担当：作業療法士、理学療法士、保健婦。
 希望者は健康係まで。(電話42-1117 有線2-4483)

献血の予定

実施日	会場
2月15日(木)	午前10時~12時 午後1時~3時 シナノケンシ(株) 本社
2月23日(金)	リハビリテーションセンター鹿教湯病院

その他 (初めて参加する人は申し込みが必要)

事業名	内 容	実施日・時間
デイケア	心の病気をもち仲間が集まり、ゆっくり語り合ったり、料理や、スポーツなどをして、社会復帰をめざします。	2月7日(水) 13時30分~15時30分 2月21日(水) 10時~12時

【問】保健センター ☎42-1117 有線2-4483

子育てランドと育児相談

保健婦による育児相談コーナーと自由に遊べる部屋のコーナー
 ▶持ち物：相談の方は母子手帳をお持ちください。

実施日	受付時間	場 所
2月27日(火)	午前10時~10時30分	保健センター

育児セミナー

▶場 所：保健センター ▶持ち物：母子健康手帳

教室名	対象者	と き
かるがも教室	これから赤ちゃんを迎える夫婦	2月24日(土)
ひよこ教室	4~7カ月くらいの親子	1回目 2月20日(火)
		2回目 2月27日(火)



無病息災を祈り どんど焼き

1月13日、14日と各地でどんど焼きが行われました。
1月15日には、依田保育園で園児と老人クラブ飯沼さつき会の皆さんによるどんど焼きが行われました。竹で作った骨組みにだるまやしめ飾りを付けました。高さ8メートルほどあるやぐらは勢いよく燃え上がり、園児たちからは歓声が上がりました。1月12日に作った『稲の花』や『薊玉』『小判』なども柳の枝にさして火であぶり、風邪をひかないようにとほおばりました。さつき会の会長竹花茂男さんは「子どもたちと昔ながらの行事を行うのも楽しみの一つです」と話されました。

新年祝賀式 21世紀初陣太鼓『鼓城(かなめ)』・ 丸子町無形文化財の 映像資料お披露目

1月12日、新年祝賀式が丸子町文化会館で開かれ、信州丸子太鼓保存会の皆さんによる「21世紀初陣太鼓『鼓城(かなめ)』」の演奏披露と映像資料「丸子町の無形文化財」の公開がありました。

丸子太鼓保存会は昭和44年に結成され、木曾義仲拳兵太鼓などを継承してきました。今回できた新曲『鼓城(かなめ)』は躍動感あるリズムカルな曲で、愛知県にお住まいの吉村城太郎さんの作曲。丸子太鼓保存会では2年にわたり練習を積んできました。新春にふさわしく、力強い太鼓の音が響き渡りました。



20世紀の映像資料を21世紀に継承するためにデジタル化した「丸子町の無形文化財」。
無形文化財は、おんやまみかしらくし尾野山三頭獅子、おのやましきさんばそう尾野山式三番叟、よだじんじやだいかぐらししまい依田神社大神楽獅子舞、こしごえすわじんじやおんばしらおね腰越諏訪神社御柱御練り、たかなしみかくらくし高梨三頭獅子で、映像は、丸子テレビ放送株式会社から提供していただき、マルチメディア研究センターの協力により制作しました。今回収録した映像は、約50分ほどのダイジェスト版で1枚のDVDに収録され、儀式別や役柄別などのメニューもあります。

DVD
(Digital Versatile Disc)
デジタル・パーサ
イル・ディスク：
高画質・大容量の音
声・映像、コンピ
ューター・データを蓄
積できる次世代の情
報記録媒体です。



「丸子町の無形文化財」は2月1日から金子図書館で一般公開します。(開館日のみ)
また、平成13年度では、どんど焼き、春祭りなどの年中行事を題材にした編集を予定しているほか、「依田社の記録」など貴重な映像資料の保存に取り組みます。



20世紀から21世紀へ 新世紀幕開けイベント

12月31日から1月1日にかけて、新世紀を祝う幕開けイベントが行われました。

12月31日は、丸子町文化会館セレスホールで午後11時から鬼太鼓座の皆さんによる越年記念公演が開かれ、約700人の来場者でにぎわいました。
午前0時のカウントダウン後は、新世紀一番太鼓、屋台ばやし、大太鼓などが行われ、勇壮な太鼓の響きに酔いしれました。

1月1日の朝、総合体育館で新年恒例の元旦マラソンが行われ、250人が参加し新世紀を走り初めました。1.5kmと3kmのコースに分かれ総合体育館周辺を走り、完走者には雑煮などがふるまわれました。
また、前夜公演を行った鬼太鼓座の皆さんも参加者とともに3kmを走り、ゴール後は太鼓演奏をし新年を祝いました。

幻想的な冬の世界 鹿教湯温泉 「幻想(きらめき)冬紀行」開催中

鹿教湯温泉の氷灯ろうもすっかり冬の風物詩になりました。氷灯ろうは、五台橋から文殊堂境内まで続き、灯りがともると辺りは幻想的な世界に変わります。
12月29日には、点灯式がありました。鬼太鼓座の太鼓の合図とともに、西内小学校の児童や温泉客など60人ほどが200個近くの氷灯ろうに火をともしました。

期間は2月28日まで。写真コンテストなども行われています。詳しくは、18ページのイベント情報をご覧ください。



申告期間 2/16 ~ 3/15

所得の申告は お早めに!



役場 税務課 町民税係
☎42-1030
有線2-4522

今月の十六日から所得の申告相談が始まります。平成十二年中に得た所得について、三月十五日までに申告をしましょう。日程は表のとおりです。ご都合の上、なるべく役場で申告してください。

申告された所得は、町県民税や国民健康保険税の賦課に使われるだけでなく、福祉年金や児童手当などの給付金の支給判定に使われたり、所得証明の発行などに使われます。申告をしないと、これらの給付が一時停止されたり、証明書が発行されないといった支障がでます。期間内に申告を済ませましょう。

町県民税の申告書は配布しますが、あらかじめ配布する収支内訳書などに記入してからお出かけください。

申告書は会場です。

町県民税の申告書は配布しますが、あらかじめ配布する収支内訳書などに記入してからお出かけください。

平成12年分 所得申告相談日程表

月日	曜日	申告会場	対象地区
2.16	金	丸子町役場	全地区
19	月		
20	火		
21	水		
22	木	榎実の家	東内
23	金		
26	月		
27	火	熊の森センター	生田
28	水	熊の森センター	御岳堂
3.1	木	石井公民館	塩川
2	金	南方公民館	
5	月	町民センター	長瀬
6	火	町民センター	
7	水	丸子町役場	全地区
8	木		
9	金		
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		

役場での受付はありません

- おねがい
- 受付時間は、各会場とも午前9時から11時まで、午後1時から4時までです。
 - 旧丸子地区の方は役場で申告してください。申告期間中、特に日を定めませんが、ご都合のうえなるべく早く申告を済ませてください。(ただし、2月23日から3月6日までを除く)
 - 営業所得・譲渡所得などで税務署から所得税の申告日を指定された方は、指定日に指定の場所で申告してください。
 - 土地建物等を売却し所得のある方で、税務署から申告日を指定されていない方のうち町の税務課で相談される方は、役場の申告会場へお出かけください。上記日程のとおり2月23日から3月6日まで、役場の申告受付はできませんので、恐縮ですが、ご理解ご協力をお願いします。

申告をしなくてもよい人
税務署へ所得税の確定申告書を提出した人。
給与だけの人で勤務先で年末調整が済んでいる人。
他の人の扶養親族等になって
いる人で、所得がなかった人。
以上の要件に当てはまらない人

で、平成十三年一月一日現在、丸子町に住所がある人は申告の必要があります。
申告に必要なもの
所得金額の計算と申告に必要な帳簿、書類。
生命・損害保険保険料領収書

または支払証明書
医療費などの領収書または証明書。
給与所得の源泉徴収票、公的年金などの源泉徴収票。
印鑑。
配布されている「所得の申告について」



士気旺盛に 丸子町消防団出初め式

新春恒例の丸子町消防団出初め式が1月14日、丸子中央小学校体育館で開かれました。あいにくの雪降りでしたが、516人の団員が参加しました。

式典では、ラッパ吹奏の模範演技や消防音楽隊の演奏、消防功労者の表彰などが行われました。式典の中で、上原栄一団長は「自らの町は、自らの手で守るという精神にのっとり、町民の生命・財産を守っていきたい」と述べられました。

式典後は街中を団員全員による分列行進が規律正しく行われました。



- 消防功労者
出初め式で表彰された皆さんです。
- (敬称略)
カツコ内は所属分団
- 第一〃西内 齋藤 一生(第一)
 - 第二〃東内 草間 達哉(第二)
 - 第三〃丸子 清水 晴雄(第四)
 - 第四〃依田 山岸 誠司(第五)
 - 第五〃長瀬 山岸 誠司(第五)
 - 第六〃塩川 山岸 誠司(第五)
 - 県消防協会 伊澤 康浩(第三)
 - 〈長野県功績章〉 久保田 純一(第三)
 - 久保田 純一(第三) 5人
 - 小山 厚志(本部) 三浦 啓司(第三)
 - 黒岩 祐一(第一) ラッパ吹奏
 - 大野 英雄(第三) 齋藤 聖(第一)
 - 金子 和夫(第六) 岩下 孝之(第五)
 - 〈県努力章〉 小相澤 隆幸(第五) 29人
 - 川井 正明(第五) 生田 淳一(第一)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 中沢 民也(第三)
 - 下村 邦好(第三)
 - 長張 克則(第三)
 - 下村 文彦(第三)
 - 下村 英樹(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 日里(第四)
 - 東山 徹(第四)
 - 清水 新一(第四)
 - 高井 浩臣(第四)
 - 小山 秀永(第四)
 - 竹花 一男(第四)
 - 大井 博志(第四)
 - 水科 和寿(第四)
 - 滝沢 安志(第四)
 - 丸山 勝昭(第五)
 - 久保田 政博(第五)
 - 小須田 幸夫(第五)
 - 春原 茂(第五)
 - 永井 隆(第六)
 - 小松 好郎(第六)
 - 小松 弘俊(第六)
 - 笹沢 貴弘(第六)
 - 近藤 明(第六)
 - 上野 道夫(第六)
 - 今井美智子(音楽隊)
 - 武重 功(音楽隊)
 - 永井 丈夫(第一)
 - 齋藤 久(第一)
 - 我山 克巳(第二)
 - 青木 正光(第二)
 - 眞壁 真(第二)
 - 滝澤 武彦(第二)
 - 高原 浩紀(第三)
 - 宮坂 裕志(第三)
 - 依田 精一(第三)
 - 柴田 陽一(第三)
 - 清水 貞海(第四)
 - 矢ヶ崎 厚(第四)
 - 春原 武彦(第四)
 - 上野 達人(第四)
 - 丸山 弘文(第五)
 - 丸山 聖徳(第五)
 - 山岸 利文(第五)
 - 池内 功(第五)
 - 堀内 尚彦(第六)
 - 吉池 幸夫(第六)
 - 齋藤 篤(第六)
 - 田中 栄治(第六)
 - 笹沢 克之(第六)
 - 鷹野 良彦(第六)
 - 上小消防協会
 - 丸山 和男(第三)
 - 丸山 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢 一幸(第六)
 - 永井 隆(第六)
 - 上野 和憲(第六)
 - 北沢 貞徳(第六)
 - 下島 隆志(本部)
 - 丸山 和男(第三)
 - 金子 貴士(第四)
 - 滝澤 秀幸(第四)
 - 青木 信雄(第五)
 - 山岡 和久(第一)
 - 池内 克美(第一)
 - 春原 政幸(第一)
 - 木内寿美彦(第二)
 - 岡崎 勝司(第二)
 - 山本 正樹(第二)
 - 藤原 和(第三)
 - 工藤 有通(第三)
 - 矢沢 克晃(第三)
 - 中沢 民也(第三)
 - 戸堀 宏樹(第三)
 - 永井 正志(第四)
 - 西藤 高司(第四)
 - 橋本 昭幸(第四)
 - 滝澤 康幸(第四)
 - 小相澤 稔(第五)
 - 村松 裕充(第五)
 - 山岸 大作(第五)
 - 小松 俊明(第六)
 - 滝沢

動物の飼い主は、命あるものである動物の所有者としての責任を十分に自覚し、その動物を正しく飼うことにより、動物の健康を守り、また人に危害を加えたり、迷惑などをかけないよう努めなければなりません。さらに、動物による感染症について正しい知識を持ち、名札や標識などをつけることにより動物の所有者であることを明らかにするよう努めることとなりました。



飼い主にはいろいろな義務があります。

虐待や遺棄に対する罰則の適用対象(愛護動物)として、飼育されている爬虫類が新たに加えられました。みだりに愛護動物を殺傷した者には、一年以下の懲役または百万円以下の罰金、みだりに愛護動物を虐待し、または遺棄した者は、三十万円以下の罰金等罰則が強化されました。



爬虫類も罰則の対象です。

都道府県知事は、多数の動物を飼うことにより、周辺の生活環境が損なわれている場合には、その者に対し、必要な措置をとるよう勧告・命令ができるようになります。

愛護動物とは、牛、馬、めん羊、やぎ、犬、ねこ、いえうさぎ、鶏、いばと、あひる、その他、人が飼っている哺乳類、鳥類または爬虫類です。



周囲に迷惑をかけるはいけません。

「動物の保護及び管理に関する法律」から「動物の愛護及び管理に関する法律」に変わります。また、全ての人が、命ある動物を虐待することのないようにするだけでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにならなければなりません。



法律の名称が変わります。

動物取扱業者(動物の販売、保管、貸出し、訓練、展示業など)には、都道府県知事への届出義務が科せられ、また、守らねばならない基準が設けられました。都道府県知事は、その施設や動物の取扱い方法などに問題がある場合には、改善をするよう勧告・命令することができ、また必要な場合には立入検査などができるようになります。



取扱業者は届出が必要ですよ。

地方公共団体は、動物取扱業者への立入検査や動物の愛護と管理に関する事務を行う専門職員として、動物愛護管理員などを置くことができるようになります。また、行政と協力して地域における動物の愛護と適正な飼養の推進を図るために、動物愛護推進員を委嘱することができるようになります。



地域の専門家ネットワークがつくりだされています。

動物の保護及び管理に関する法律が改正されました(平成十二年十二月一日から施行)



まるこ2001 健康と福祉のフェスティバル

テーマ 「21世紀の新しい健康づくり～主役はあなた自身です～」

日時 3月4日(日) 10:30～16:00

場所 丸子町文化会館

内容

- <午前>健康相談、介護用品の展示コーナー、各種団体の紹介など
- <午後>保健指導員による寸劇 介護保険、介護予防事業に関連した発表 アトラクション

特別講演 「今日から始まる 生き生き健康づくり」 ～元気で年とる大作戦～

講師:星 旦二氏 (東京都立大学 大学院教授、健康日本21計画策定検討委員)

めざせ「健康日本21」

すこやかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現へ

21世紀を迎えるにあたり、すべての人がすこやかで心豊かに生活できる活力ある社会とするために、国は「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」の推進を提言しました。これは、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸などを旨とするものであり、行政のみならず、住民や関係団体などの積極的な参加および協力を得ながら、国民の主体的な健康づくりを総合的に推進しようとするものです。



あたたかい心

株式会社キャスト様 電気毛布10枚以上、町にご寄付いただきました。

- ・斎藤鈴子様 雑巾200枚
 - ・城下一二三様 クボタラクター1台
 - ・丸子郵便局様 29,100円
 - ・東京丸子会様 100,000円
 - ・ふれあいコンサート様 47,718円
- (中丸子区、中丸子ときわ会、邦楽「ゆめ」、カネボウベルプラザ、さうんど川上、丸子町混声合唱団、丸子中央小学校合唱クラブ・金管クラブ、中丸子保育園、中丸子区役員、ほか聴衆の皆さん)
- ・丸子町商工会女性部様 50,000円
 - ・北信ヤクルト販売会社様 20,000円
- 以上、丸子町社会福祉協議会にご寄付いただきました。
- ・ろうきん丸子支店様 歩行器2台
 - ・日本禁煙友愛会丸子支部様 大型タオル76枚
- 以上、陽寿荘にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。



一元玉募金 ご協力ありがとうございました。

丸子町赤十字奉仕団、丸子町連合婦人会で行いました「一元玉募金」には多くの方にご協力をいただきありがとうございました。総額は573,353円となりました。この募金は次の通り、各施設で活用させていただきました。

- 特寿荘.....40,000円
 - 陽寿荘.....40,000円
 - 敬老園.....40,000円
 - 山の子学園.....40,000円
 - とんぼはうす.....40,000円
- 残金については、町民の皆さんへ還元できる福祉事業を実施する予定です。



工事請負契約の公表(1件5,000万円以上)

- 【工事名】平成12年度緊急地方道路整備事業臨時交付金(A) 町道宮沢豊泉寺線改良工事(寺前橋)変更請負契約
- ▶変更後の契約金額 65,173,500円
- ▶請負業者 青木建設工業株式会社(丸子町大字上丸子1706番地) 代表取締役青木英友
- 【工事名】平成12年度丸子町スポーツ施設改修事業 総合体育館・グラウンドトイレ改修工事
- ▶契約金額 50,610,000円
- ▶請負業者 青木建設工業株式会社(丸子町大字上丸子1706番地) 代表取締役青木英友



『丸子町行政情報番組』

毎週月曜日放映中
6:30・8:30・11:30・21:30
丸子テレビ放送(1ch)
2月の内容
「税務課の業務を紹介」(税務課からお知らせ)

行政のページ

町政の動きを
お知らせします。

短 信 1月

- 4日 仕事始め式
- 8日 成人式
- 12日 新年祝賀式
- 14日 消防出初式
- 27日 文化財防火デー防衛訓練 (南方薬師堂)
- 29日 とんぼはうす開所式

予 定 2月

- 2月は
- 北方領土返還運動全国強調月間
 - 青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間
 - 省エネルギー月間
 - 物を大切にする県民運動強調月間
-
- 1日 生活習慣予防週間(～7日)
 - 7日 北方領土の日
 - 11日 建国記念の日
 - 16日 所得税の確定申告と納税 (～3月15日)
 - 18日 ながの飯山国体(～21日)
 - 20日 旅券の日

役場	☎ 42-3100
	FAX 43-3666
教育委員会 学校教育課	☎ 42-1044
社会教育課	☎ 42-3147
	FAX 42-3148
丸子町文化会館	☎ 42-0001
総合体育館	☎ 43-2250
	FAX 43-0616
金子図書館	☎ 42-2414
	FAX 42-2414
クリーンセンター	☎ 43-2131
衛生センター	☎ 42-6789
給食センター	☎ 42-2892
解放センター	☎ 42-6694
町民センター	☎ 42-5122
郷土博物館	☎ 42-2158

21世紀、自分らしく積極的にチャレンジ

成人式運営委員長

尾芦友子さん (20歳)

今月号では1月8日の成人式で運営委員長を務めた尾芦友子さんをご紹介します。式を終えて早速インタビューしました。「委員長としての仕事がい

いろいろあり戸惑いましたが、自信にもなり、いい経験にもなりました」と振り返ります。式典の中では「大人としての自覚を持ち、社会の一員として夢と希望を持ちたい」とあいさつしました。「自分の思っていることが言えて良かった」と話します。

尾芦さんは、現在短大の2年生。この春には就職となります。大学では、幼児教育を専攻しています。「保育園の先生になりたい」と現在は就職活動中。「子どもによってそれぞれ対応が違うところにやりがいのある仕事だと感じます」。大学の卒業論文では「幼児虐待について」研究しました。

学校のサークル活動では、レクリエーションサークルに所属し、「手遊び」など子どもとふれあえるような活動もしています。「体を動かすことが好き」とテニスやスキーなどもします。

最後に、今年目標を聞くと「就職と運転免許を取ることで」と話していただきました。

FACE 顔 WATCH



『遠くより近くを』

—あまり格調高い難しいことよりも
近くの足元の問題を
見つめ直そうじゃありませんか—

生きる時間

新しい世紀の出発にあたって、こんなことを考えてみました。時は刻一刻と流れていますが、いつたい、人間というのは何時間くらい生きるものであろうかと。

人間にも寿命というものがありません。いかに長寿社会とはいえ、三百年も四百年も生きることは、現代の医学をもってしても、とてもできるものではないかと。

石油ストーブをたいていると、いつかは石油がなくなり、火は消えてしまいます。それでも石油を補給すれば再び火をつけることができます。ところが、人間の命というのは、一度消えてしまえば補給はききません。その限界はいつでしょうか。ここに、こんな面白い記録があります。この時間は、どこか誰さんにとっても対等であり、まったく一緒なのです。

人間が七十五年間生きてきたとすると、二万七千三百七十五日となる。時間に換算すると六十五万七千時間。一日に八時間の睡眠時間をとったとすると、一年間の睡眠時間は二千九百二十時間。七十五年間の睡眠時間は二

十一万九千時間となる。これを差引いた起きている時間、つまり考えている時間は四十三万八千時間。考えてみれば人間一人の人生は意外と短いものです。「生きる」というのは、誰もが対等に持っているこの時間を消費していく営みであるということができ

るでしょう。だからこそ、決められた持ち時間をどのように使うかが生き方を決める要であり、充実した生き方が求められているのです。二十一世紀の初頭にあたって、他人のことよりも、まず自分の生き方と生きてきた足跡を、かみしめてみようではありませんか。私たちは、大勢の人間に堂々と自分をさらせる生き方をしてきたでしょうか。それをする

文・田村正男

同和教育学習会を振り返って

辰ノ口分館長 深井茂次
辰ノ口公民館では、毎年、年3回の同和教育学習会を開催しています。今年度の同和教育学習のテーマは「人権について考えよう」と決め、第1回は6月に『あなたへのメッセージ』のビデオを見て人権について考えました。

第2回は9月に実施しましたが、「男女共同参画基本法」が制定された時期でもありましたので、女性の人権について学習しました。

最初に『今、男たちが変わり始める』のビデオ鑑賞のあと丸子町女性行動計画推進委員会学習部長の倉石貞子さんのお話を聞きました。開口一番、「男性が変われば世の中は変わる」と言われました。まさにその通りであると思いました。特に、被差別部落の女性は、女性差別・部落差別の二重の差別に苦しめられてきたのです。女性問題は、男性の問題でもあって、共に支えあうことが大切だというお話があって、参加者の感



銘深い学習会になりました。第3回は12月に、「人権が尊重される地域を願って」と題して、丸子中学校長の石川武文さんのお話を聞きました。人権問題は自分の問題であるということをお聞きし、21世紀に生きる私たちの重要な課題であることを学びました。人権の世紀として、差別のない、明るい地域社会を目指し、行動していかなければならないと思います。

アップウィズピープル (UWP) 活動休止

柳澤さんの文章にもありましたが、昨年の12月をもって35年間にわたるUWPの活動が財政的理由から休止となりました。

町としても過去5年間、UWPを受け入れてきた経過があり、この決定は大変残念に思います。しかし、UWPが縁で米国コロラド州ブルームフィールド市と交流が始まったのも事実です。現在、国際交流事業を進める会の皆さんにより人的交流活動が進められています。平成13年度からUWPの国際交流事業はありませんが、ブルームフィールド市との姉妹都市提携に向け、より充実した交流活動を進めていきたいと考えています。

柳澤さんからの手紙
UWP
アップウィズピープル
スの友人の家にいます。今回は、皆さんに寂しいお知らせをしなければなりません。というのは、UWPが昨年の12月で活動を中止しなければならなくなりました。私たちがキャストがこの事実を聞いたのは、冬期休暇するほんの1週間前でした。私自身も英語にも慣れてこの休暇明けからの活動に期待を膨らませていたところでしたので大変残念です。でも、この七月から十二月までの五カ月間、世界中から集まった若者たちと時には笑い時には協力し合い、そして涙して言葉にならないほどの経験ができたことは、私にとってかけがえのない思い出です。



この手紙は1月8日にいただいたものです。柳澤さんは1月19日に帰国し、1月22日は、町長を表敬訪問しました。

宝物です。そして改めて日本文化の重さ、日本人の温かさ、ぬくもりを知り、また自分が住むこの丸子町が好きになりました。心からこころ感じる事ができたのも、この旅があったからこそです。まだまだ言葉にできない思い出経験が山のようにあります。UWPの日記はこれで終わりとなりますが、また皆さんにお伝えできる機会があればと思います。

町長との対話サロン
 毎月十五日、町長との対話サロンを行っています。
 町政に対する提言やご要望など、お気軽にお話ください。
 ご希望の方は、役場 企画課 情報係へご連絡ください。
【問】役場 企画課 情報係 四二二一〇〇一

「こいつは、春から演技(縁起)がいいや」とこ機嫌なのはめでたく、「二ツ目」昇進を果たした落語家立川ワコル改め立川談慶さん。地元長瀬出身の青木幸二さんと立川談慶、立川ワコルとしてこれまで郷土にはなじみ深い、厳しい談志師匠のもとでみっちり修行を積んで九年半、晴れて二ツ目として高座に上る。そして新世紀二〇〇一年は次なる目標「真打ち談慶」を目指しての門出となる。本年春にはセレスホールで、二ツ目昇進を祝い、談志・談慶師弟記念落語公演会を開催する計画を立てている。ふるさとの生んだ落語界の新星、立川談慶に皆さんの温かい激励と応援を送っていただきたい。



笑う門には福来る。いま一つ景気のおぼつかない年明けではあるが、落語の笑いで福を呼び込み、いつも笑いがこぼれるような新年を過ごしたいものだ。
 (1/10)



2月の納税

納税は便利な口座振替を

- 国民年金保険料(2月)
- 国民健康保険税(9期)
- 固定資産税(4期)
- 下水道受益者負担金(4期)
- 引き落としは...2月28日

2月の相談

- 年金相談
2月22日(木)10:00~12:00
13:00~15:00 役場2階第6会議室
- 8のつく日、心配ごと・行政・結婚相談
2月8日(木)18日(日)28日(水)
9:00~12:00 丸子ふれあいステーション3階巡回ハローワーク
- 2月16日(金)9:30~12:00 役場1階相談室
- 交通事故でお困りの方
交通事故相談室 上田支部
☎23-1260 内線2417
- 悪徳商法に対する苦情相談
上田消費生活センター ☎27-8517
- 子供の相談窓口
丸子町教育委員会 ☎42-3147
- 女性のための法律相談
☎026-232-2104
- 育児や介護を支援するフレイフレー・テレフォン
☎026-232-2020
- ふれあい相談室
☎026-233-9110
- 女性被害犯罪ダイヤルサポート110
☎026-234-8110
- ヤングテレホン
☎026-232-4970
- 暴力追放ダイヤル
☎026-235-1224
- 困りごと相談コーナー
☎026-235-3636

2月7日は“北方領土の日”

<内閣府>

新世紀

日口の英知で
しま
四島返還



戸籍の窓
 こめいふくを祈ります。
 12月 届出分 (敬称略)

田 藤 石 小 滝 中 吉 宇 上	柳 小 滝 宮 武 下 永 平 北 黒 小 池 竹
村 森 川 山 澤 山 村 梶 野	澤 林 澤 下 井 村 井 田 澤 岩 林 内 花
き 英 孝 榮 は 元 和 恵	輝 さ 義 義 甚 み ヒ あ 健 す 定 久
く 明 之 高 次 郎 子 春 女 美	男 あ い 勇 雄 雄 三 ち サ 吉 子 次 文
87 64 82 80 81 86 78 80 17	69 91 79 65 77 73 81 83 86 71 68 88 90
中 南 石 高 腰 中 石 上 西	八 尾 腰 尾 三 町 徳 南 中 中 西 腰
村 方 井 梨 越 丸 井 組 組	日 野 越 野 山 反 町 寿 方 丸 丸 組 越
西 部	町 山 田 庄 東 子 子 組 越

コンサートCONCERTイベントEVENT情報

「新世紀におくる」
吉田兄弟 三味線コンサート

日 時 3月2日(金)
 開場18:00
 開演18:30
 場 所 セレスホール
 入場料 全席4,000円
 (当日4,500円)
 全席指定・税込



問 丸子町文化会館 ☎42-0001

第7回 丸子町消防音楽隊 定期演奏会

日 時 2月18日(日)
 開場13:30 開演14:00
 場 所 セレスホール
 入場料 無料
 <演奏曲目>
 歌劇「アイーダ」より.行進曲
 ラテンポップ・スペシャル
 宇多田ヒカル・ボーカル・コレクション
 賛助出演: 丸子北小学校合唱団、
 丸子北小学校6年生全員の器楽合奏

問 丸子消防署 ☎42-0119

鹿教湯温泉 幻想(きらめき)冬紀行
氷灯籠の展示

期 間 2月28日まで 夕暮れ時から3時間
 場 所 鹿教湯 五台橋から文殊堂境内

「きらめき冬紀行」写真コンテスト

テ ー マ: イベント氷灯籠および鹿教湯温泉の冬景色
 応募作品: カラーズライド/35mm判以上(プリント添付)カラ
 ープリント/カラープリント4ツ切り(S4.W4.
 RPを含む)
 応募方法: 作品の題名・撮影場所・撮影年月日・氏名・年齢・職
 業・住所・電話番号・メールアドレスを応募表に明
 記し作品裏に張り付け、郵送または持参してくだ
 さい。
 応 募 先: 〒386-0322
 長野県小県郡丸子町鹿教湯温泉1243-1
 鹿教湯温泉観光協会
 きらめき冬紀行
 写真コンテスト係
 応募締切: 3月31日(土) 必着



問 鹿教湯温泉観光協会 ☎44-2331 Fax45-3712
E-mail:kakeyu@ued.janis.or.jp

図書館だより

金子図書館 ☎42-2414
休館/月曜・祝日・月末日

新刊本の紹介

本館	世界の子ども遊び事典	馬場桂一郎	明治図書出版
現代用語の基礎知識	新パソコン入門	石田 晴久	岩波書店
お年寄りが骨折したら	八月の博物館	飯島 治	講談社
あふれた愛	あふれた愛	瀬名 秀明	角川書店
ミスキャスト	夏姫春秋	天童 荒太	集英社
		林 真理子	講談社
		宮城谷昌光	文芸春秋
あおぞら号	極楽家族	佐藤洋二郎	講談社
百年の恋	私のかかげる小さな旗	篠田 節子	朝日新聞社
こよなく愛した	千曲川 第3部	沢地 久枝	講談社
一緒にいるのが楽しい人・気疲れする人		小島 信夫	講談社
		小宮山量平	理論社
		フォスタ-敬子	海竜社

あおぞら号巡回日

- 東内・西内コース
2/13(火)・27(火)・3/13(火)
- 腰越・依田コース
2/1(木)・15(木)・3/1(木)
- 中丸子・下丸子・長瀬コース
2/6(火)・20(火)・3/6(火)
- 塩川・藤原田コース
2/8(木)・22(木)・3/8(木)
- 東内保育園・陽寿荘・三才山病院
2/7(火)・21(火)・3/7(火)

今月の一冊

写真集
「信州子どもの20世紀」



信濃毎日新聞社